

nagomi no hiroba

このコーナーでは、皆さんからの「こころ和む話題」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆字数 200 文字以内（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月 10 日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
 伊佐市大口里 1888 番地
 市総務課広報係(大口庁舎)
 「和みのひろば」係
 ☎ 1311
 ① 1116・1117
 ✉ koho@city.isa.lg.jp



うちの犬は、二歳違いの兄と弟。犬種は違うが個性があって面白い。私になついている兄は、十歳の老犬だが、名前を呼ぶと口角を上げ笑顔で走り寄ってくる。幼い頃褒めて可愛がって育てた。一方、弟は私以外の家族が大好き。私が忙しきもあって、少し厳しく躱たからか、笑顔はない。人間も同じか……。子どもは褒めるとすくすく育つと聞いたことがある。「ホントはもっと褒めたいのに、この成績では……」とため息をつく日々である。

（大口 のりちゃん 40代）

話題を肴に話が広がれば楽しいと思う。ぜひJリーグまで登りつめて伊佐市民の心を熱くしてもらいたい。

（大口東 ホークスさん 40代）

玉ちゃんとは同級生で、小学一年から一緒のクラスで勉強した。当時、陸軍の法務官だった父と、北九州の小倉に帰るため、小学校を転校することになり、玉ちゃんとお別れ。玉ちゃんは寂しそうだった。小学4年で転校すると、クラスのボスがやってきて、「お前、前の学校でケンカ何番だった？」と聞くので、「俺、ケンカ一番、勉強も一番だった」と言うと、一度も挑戦することなく、遠くから眺めていた。やはり勉強して賢くだな。

（山野 K・K 80代）

山野のKさん、「心のともしび」というタイトルで懐かしいお話ありがとうございます。まだまだ素敵なエピソードがあるようですね。その後の玉ちゃんが気になるな。



編集後記

4月のメンバーチェンジで新たに発進した広報係の中で、古顔となった私は、隙間風が吹く総務課審察席で3回目の冬を迎え、お坊さまも走り回る「師走」の忙しさを体験中です。

広報紙12月1日号を発行したと思いきや、15日号の最終確認をしながら新年号の編集を進め、1月15日号のことをぼんやり考えなければならぬ12月。正直、何の原稿を書いているのか「もうーわかりません！」新年号の特集を考えるため、広報紙を見返すと、「あれからもう〇か月経ったのかあ」と時の流れに驚きます。広報紙づくりって、振り返って記事を書いたり、これから起こることをお知らせしたり、3歩進んで2歩さがるような仕事。それを担当する私は、人の倍生きている感じがして得したような、年をとるのが早くて損したような……。あくでも、充実した日々を過ごせて、何はともあれ幸せを感じた今年一年、「広報いさ」をご覧いただいていたありがとうございます。



人口のうごき
 (住民基本台帳から)

H24.11.1 現在 (前月比)

総人口	29,252人	(- 24)
男	13,526人	(- 8)
女	15,726人	(- 16)
世帯数	14,221世帯	(- 13)